

# 浜松百撰

特集 ●らくごのごらく

2012  
6

Take Free







大道芸人  
綱乗の

ジヨニー↓さん

a rope dancer johnny

つなのリジョニー→

21歳のとき初めて大道芸に出合った。その後、勤めていた会社を辞めてバイクで日本のあちこちを旅していたとき、再び見た大道芸に「これだ!」と感じて、この道を進もうと決めた。今では大道芸人として日本全国を飛びまわっている。浜松市在住、本名黒木優(まさる)さん。今月28歳の誕生日を迎える。

100sen  
interview

30





休みの日にはひとりバイクを走らせるのが気分転換になるそう。パフォーマンス前は好きなEXILEの曲をかけて準備しつつ気分を盛り上げる。イベントや子供会、地域のお祭りなど全国に出張OK。スケジュール、出演依頼はHPを。  
<http://iam-johnny.com/>



100sen  
interview  
30

## お客さんを笑顔にしたい! オリジナルを求める綱乗りジョニーの 夢は静岡大道芸ワールドカップ出場。

**大** 道芸との出会いは7年前、横浜の山下公園だった。面白そうだとお手玉の

ジャグリングを始めたものの、全くうまくいかず挫折。けれど数年後、バイクで日本各地を巡っていたとき再び出合って、「やっばりこれだ!」とこの道へ飛び込んだのだった。大いに意気込んでいたが、見るとやるとでは大違い。はじめは失敗ばかりで技が身に付かず、苛立ったり落ち込んだり。必死に練習を重ねてジャグリング、中国独楽、ほうきが宙を舞うデビルステイックなど次々と技を増やしていった。

先輩の芸を受け継いだ綱乗りは2年かけて身体に叩き込んだもので、5分ほど片足で綱の上でバランスをとり、ジャグリングをする。「場所によって地面の条件も違うし、風が強い日には怖いこともあ





取材協力:はままつフラワーパーク

るけれど、お客さんの笑顔や拍手が力になります」。あまり調子が上がらない時にコワモテのお客さんが盛り上げてくれたり、保育園に出張した後日、別の場所に親子で見に来てくれて再会したりと、思いがけず嬉しい出来事もある。

1年ほど前にアルバイトを辞めて、大道芸以外の収入源を絶った。「これだけに気持ちを集中させなければ、もっと楽しんでもらえるパフォーマンスはできないと思って」。道ゆくお客さんに興味をもってもらうための「つかみ」が課題と、テレビでトークを研究したり曲を探したり、新たなネタをとおりもちやや雑貨を見て歩いたり。「誰もやっていないことをしたい!」と、常にオリジナルを追求している。夢は静岡市で開催される大道芸ワールドカップ出場。その晴れ舞台に「綱乗りジョニー」の名がこだまする日が楽しみだ。